

1 講座名	化学（理科）	6 教科書名
2 科目名（教科）	化学（理科）	改訂 新編化学
3 開講学年	3	7 使用教材
4 履修区分	フィールド選択	なし
5 単位数	2	

1 科目の目標・学習内容

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。
1) 化学の基本的概念や原理・法則の理解を含め、科学的に探求するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけるようにする。
2) 観察・実験などを行い、科学的に探求力を養う。
3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求使用とする態度を養う。

2 学習の到達目標

(知識及び技能)
a 化学的な事象に関する原理や法則について理解を深め、自然の事象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
(思考・判断・表現)
b 化学的な事象を考察し、導き出した考えを的確に表現している。
(主体的に学習に取り組む態度)
c 化学的な事象に関心や探究心を持ち、科学的態度を身につけ、探究しようとしている。

3 学習計画

<特に培いたい資質・能力>
①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・積極性」④「協調性・柔軟性」⑤「チャレンジ精神」⑥「責任感・使命感」

月	単元名	学習内容	資質・能力	単元の評価規準 (先頭の番号は評価の観点)	評価方法
4	1 編 物質の状態 4 章化学結合と固体の構造	1 節 結晶の種類と性質 2 節 金属結晶の構造 3 節 イオン結晶の構造 4 節分子結晶の構造 5 節 共有結合の結晶と非晶質	① ②	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)理解したものを、応用して活用できる。	小テスト 課題プリント ノート
	2 編化学反応とエネルギー 1 章化学反応と熱・光	1 節 反応熱と熱化学方程式 2 節 ヘスの法則 3 節 光とエネルギー	① ②	(1)化学の基本的概念や原理・法則・事物の現象のしくみについて、規則性や関係性を見いだして表現することができる。 (2)理解したものを、応用して活用できる。	小テスト 課題プリント ノート
5	2 章電池と電気分解	1 節 電池 2 節 電気分解	① ② ③ ④	(1)観察、実験などから、規則性や関係性を見いだして表現することができる。 (2)化学の基本的概念や原理・法則・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用できる。	小テスト 実験・実験レポート 課題プリント 授業姿勢

6	前期 中間考査				
	3 編 化学反応の速さと平衡				
	3 章 水溶液中の化学平衡	1 節 電離平衡	①	(1)化学に関する語句や現象を理解している。	定期考査 小テスト 実験・実験レポート
		2 節 塩と化学平衡	④	(2)観察・実験などに関する操作、記録ができる。	
7	4 編 無機物質	1 章 周期表と元素	①	(1)観察、実験などから、規則性	小テスト
		2 章 非金属元素の単体と化合物	②	や関係性を見いだして表現することができる。	実験・実験レポート
		3 章 典型金属元素の単体とその化合物	④	(2)化学の基本的概念や原理・法	課題プリント
8		4 章 遷移金属元素の単体とその化合物		則・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用で	
		5 章 無機物質と人間生活		きる。	
9	前期 期末考査				定期考査
10	5 編 有機化合物	1 章 有機化合物の特徴と構造	①	(1)化学的な事象について関心を	小テスト
		2 章 炭化水素	③	持ち、探究心をもって学ぶことができる。	実験・実験レポート
		3 章 アルコールと関連化合物			課題プリント ノート
11		4 章 芳香族化合物			
		5 章 有機化合物と人間生活			
12	6 編 高分子化合物	1 章 天然高分子化合物			小テスト
		2 章 合成高分子化合物			課題プリント ノート
	後期 中間考査				定期考査
1	課題研究		④	(1)観察、実験で役割を持ち、効	課題発表
			⑤	率的に行うことができる。	実験・実験レポート
2			⑥	(2)演習や観察、実験を意欲的に取り組みことができる。	小テスト ノート
				(3)観察、実験などを安全・適切に行うことができる。	授業姿勢
3					

4 評価基準等

学習到達目標の3つの観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度）に基づいて、定期考査、小テスト、実験・観察に取り組む態度やレポート、ノートなどをもとに、総合的に判断する。

5 その他